

手稲のゆ跡

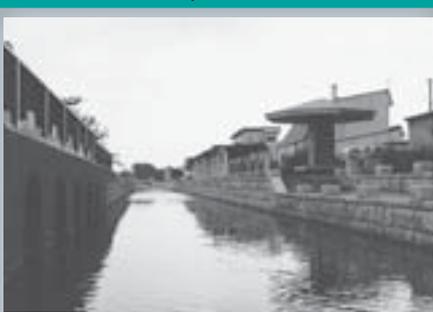
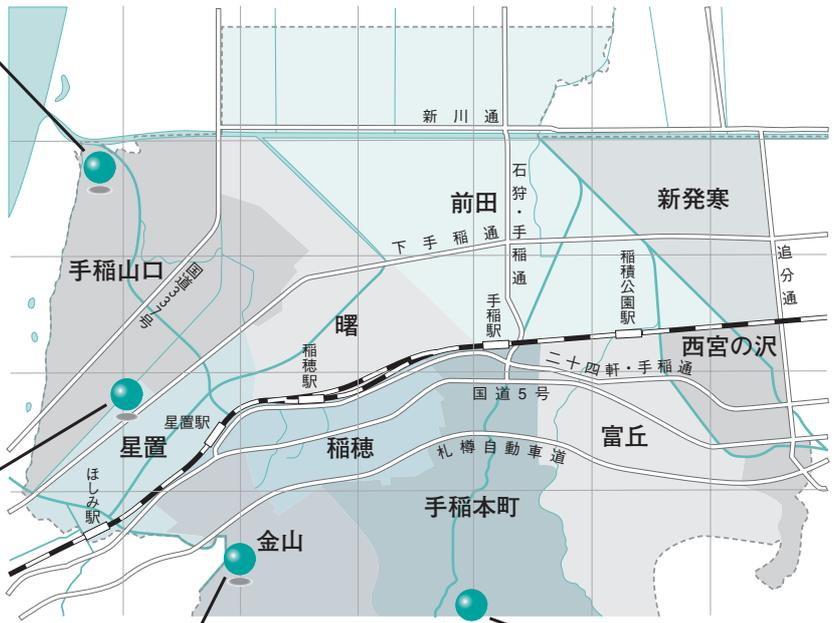


山男 さすがシッテル先生、何でも知っているなあ。
先生 いやあ、それほどでもない。こらっ！大人をからかうんじゃない（笑）。
 さて、資料は図書館にあるからそこで探してみよう。それから、昔の出来事や人々の苦勞を伝え残す、たくさんの史跡などがあるんだよ。
山男 えー、本当？教えて！
シッテル先生 は、「手稲山口バツタ塚」や山男くんも大好きな手稲山にある「手稲パラダイスヒュッテ」など区内の史跡などを教えていきます。（※今回は、建物などが残っていて、実際に見ることができない史跡などを紹介していきます）。



手稲山口バツタ塚
(手稲山口324番地)

明治15、16年にトノサマバツタの大群が山口村（当時）を襲いました。作物は全滅し、入植者は大きな痛手を受けました。そのバツタと卵を埋め、畝状となった塚跡がバツタ塚です。昭和53年に札幌市指定文化財になりました。



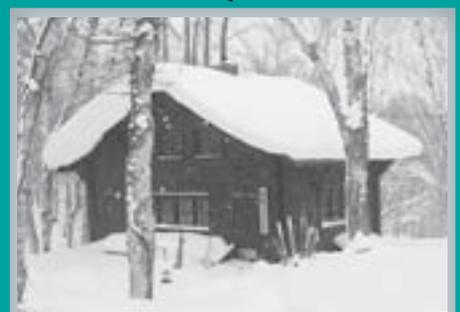
山口運河

明治30年に排水と水上輸送のため整備されました。当時は新川から山口地区を横断し、銭函の海岸まで続き、米俵を積んだ川舟が往来していました。



手稲西小学校の「鉱山の部屋（金山3条2丁目）」

手稲鉱山の歴史を知ることができます。鉱山の道具や生活道具など約150点の資料を展示しています。



手稲パラダイスヒュッテ

大正15年に北大スキー部が建てた、日本初の本格的なスキー山小屋です。現在の建物は、手稲山の自然歩道沿いに当時の設計を忠実に再現して、平成7年に再建されました。